

令和8年度 <b>第1回学校運営協議会会議録</b> 神奈川県立上溝南高等学校	校長印	副校長印	教頭印

日 時	令和8年4月22日(水) 15時50分～16時50分		
場 所	会議室	出席者 (敬称略)	運営協議会委員 西原 松尾 下藺 飯谷 長谷川
司 会	教頭		本校 校長 副校長 教頭 事務長
記 録	小俣		鈴木 末木 増山 道岸 小山 篠崎 小俣

<p>1 委員委嘱</p> <p>2 校長あいさつ(校長) 校長より、学校運営協議会の役割について説明： 主な審議対象は以下の6点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の教育計画</li> <li>・教育課程の編成</li> <li>・学校組織の編成</li> <li>・学校予算の執行</li> <li>・学校施設及び設備等の管理及び整備</li> <li>・業務量管理・健康確保措置の実施</li> </ul> <p>→ 本日の承認事項はこの枠組みに基づく</p> <p>3 委員あいさつ</p> <p>4 本校の学校運営協議会組織(資料1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校評価部会」と「地域交流部会」の2部会構成</li> <li>・地域交流はアンケート等で負担軽減を図る方針</li> <li>・学校と地域の連携強化を目指す</li> </ul> <p>5 会長・副会長の選出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長に西原秀夫、副会長に本校校長が就任。</li> </ul> <p>6 学校経営の基本方針</p> <p>【承認事項】</p> <p>(1) 令和8年度学校評価報告書(目標設定)【副校長】 ※資料2</p> <p>①学務情報：鈴木</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現行カリキュラムの改善</li> <li>・将来の新校開校を見据えた準備</li> <li>・ICT活用、授業改善の推進</li> <li>・外部講師の指導を活用</li> </ul> <p>②生徒活動支援：末木</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育祭、文化祭は生徒主体で運営</li> <li>・部活動加入プロセスの改善(見学機会増・体験期間延長など)</li> </ul> <p>③学校生活支援：増山</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒状況のデータ共有による支援</li> <li>・いじめは大きな事案なし</li> <li>・交通事故件数が課題(特に自転車)</li> </ul>
--

④キャリア支援：道岸

- 学習支援ツール（Classi 等）の活用推進
- 教員向け研修の実施
- 個別最適化学習の強化

⑤広報連携：小山

- 地域連携活動の活性化
- SNS や HP での情報発信強化
- 探究活動と地域を結びつける

⑥総務管理：篠崎

- 防災訓練の充実
- 校内美化の改善（満足度向上が課題）

⑦業務改善（働き方改革）：副校長

- 業務効率化、負担軽減
- 長時間労働の是正
- 教員の意識改革・安全管理

(2) 令和8年度年間行事予定 ※資料3  
資料参照

(3) 令和8年度教育課程表  
資料参照、変更なし ※資料4

(4) 学校組織の編成 ※資料5  
資料参照

(5) 令和8年度会計及び施設等整備 ※資料6  
資料参照

【質疑応答】

松尾：真夏に実施される体育祭の安全対策は？

→末木：冷房が稼働している外部の体育館を借りて実施している。

飯谷：①年間30件発生する交通事故の内訳は？②自転車利用は何%か？③青切符導入への注意喚起は何か実施したか？

→増山：①すべて自転車の事故である。②最後の調査では75%だった。③2,3年生には始業式で話した。新入生へは外部講師を招いて講話を実施。

ここまでの内容を一括承認

【報告事項】

(6) 令和7年度生徒による授業評価 ※資料7  
• 全体的に改善傾向  
• 調査方法の見直しが課題

(7) 令和7年度進路状況 ※資料8  
• 就職、進学ともに改善  
• GMARCH 合格者は過去数年で最良水準

(8) 令和8年度不祥事ゼロプログラム ※資料9  
• 定期研修・会議で継続対応

7 神奈川県立学校の教員の業務量管理・健康確保措置実施計画 ※資料 10

- ・長時間勤務の是正（月 45 時間超、年間 360 時間超の教員の割合を 0%に）
- ・ウェルビーイングの向上（働きやすい、やりがいがあると回答する教員の割合を 80%以上に）

校長・副校長による実施計画の説明の後、本計画について承認を受けた。

8 学校運営協議会委員から学校の実施計画についてのご意見等

下園：「残業ゼロ目標」は理想だが現実的に困難ではないか。教員も法律の枠内なら不可能に近い。

松尾：「業務量管理・健康確保措置実施計画」は、業務削減なしでは達成不可能。部活動・行事の扱いが大きな課題となる。

→校長：教員のやりがいとのバランスが難しい。外部委託など具体策も検討必要。やるべきだが、実現には構造的改革が必要である。

9 今後の予定

次第参照

閉会

- ・資料配布の遅れについて謝罪
- ・今後は事前共有を改善
- ・委員からの継続的な意見募集

以上